



Oita Prefectural College of Arts and Culture

平成26年度

---

大分県立芸術文化短期大学

---

学生募集要項

---

社会人入学試験

---

# 目 次

本学の教育目的・理念	1
本学の求める学生像	1

## 社会人入学試験

趣旨・各学科のアドミッション・ポリシー	2
1 募集人員	4
2 出願資格	4
3 出願手続	5
4 受験者心得	6
5 試験日程及び試験場	7
6 試験内容	7
7 合格者発表	10
8 入学手続	10
9 個人成績の開示	11

## その他受験に必要な留意事項

◎ 音楽科における「コース」の選択について	12
◎ 出願上の注意事項	12
◎ 学費その他の納付金	14
◎ 長期履修制度について	15

## 本学の教育目的・理念

### 本学の教育目的

本学は、芸術及び文化に関する専門の学芸の教授研究を通じて、幅広い教養及び優れた技能を有する人間性豊かな人材を育成し、もって芸術の創造、文化の進展及び地域社会の発展に寄与することを目的とする。

### 本学の教育理念

- 1) 本学は、県内唯一の公立大学法人短期大学として、県民の要望と期待に応える高等教育を推進する。
- 2) 本学は、学生の個性を尊重するとともに、知性と感性の調和した人間性を涵養する教育を推進する。
- 3) 本学は、芸術・文化の専門教育を重視するとともに、幅広い見識と総合的な判断力を備えた教養人を育成する。
- 4) 本学は、九州・中国・四国地区を含めた文化圏の中心に位置することから、その圏内における芸術・文化の教育を担う。
- 5) 本学は、開かれた大学として県民の生涯学習・リカレント教育を担う。

## 本学の求める学生像

### 本学の求める学生像

- ① 友達やあなたの周囲の人と積極的に交わり、自分の個性を磨きたい人
- ② 芸術・文化に興味を持ち、知性と感性を伸ばしていきたいと願う人
- ③ 基本学力をベースに旺盛な学習意欲を持ってチャレンジしたいと思う人
- ④ 社会に関心を持ち、積極的に貢献したいと考えている人

# 社会人入学試験

## 趣 旨

近年、生活者の価値観の多様化、「生涯学習」への欲求の高まり等の中で、実社会での経験を重ねた後、再び大学に入学し、専門的な分野を系統的に学習することを希望する社会人が増加しています。

以上のような状況を踏まえ、本学では、旺盛な学習意欲のある社会人に対し、広く大学の門戸を開放することを目的とし、以下のとおり「社会人入学試験」を実施します。

## 各学科のアドミッション・ポリシー

### 1 美術科

#### (1) 求める学生像

##### ①美術専攻

- ・美術に関心があり、夢を持っている人
- ・油画・日本画・彫刻・ミクストメディアなどの創作・表現に意欲のある人
- ・映像などによる自由な表現や美術の歴史・理論に興味のある人

##### ②デザイン専攻

- ・生活用品デザインなど、暮らしの中における感性の表現に意欲のある人
- ・映像・プリントなど、様々なメディアによる造形表現に関心のある人
- ・コンピュータグラフィックスやWebなどの表現媒体に興味・関心のある人
- ・広告やポスターなど、情報を視覚的に表現することに興味のある人

#### (2) 選抜方針

作品審査と実技試験の各評価及び面接の結果により、総合的に判断して選抜する。

- ・実技試験として美術専攻がデッサン、デザイン専攻が鉛筆画のそれぞれの描写の試験を課して、与えられたモチーフをいかに正確にとらえて質感や空間感などを豊かに表現するかを評価する。
- ・今までに仕上げた持ち込み作品によって受験者の表現技術・造形感覚について評価する。
- ・面接では、志望動機や学習意欲、将来展望を中心に評価する。

### 2 音楽科

#### (1) 求める学生像

##### ①声楽コース

- ・歌を通して、内在する情熱、感情を表現したい人

##### ②ピアノコース

- ・ピアノをより深く専門的に学び、個性豊かな想像力あふれる表現ができるようになりたい人

##### ③管弦打コース

- ・豊かな表現力や音楽性を持ち、独奏に優れていると共に、オーケストラや室内楽など、アンサンブルにも対応できる協調性のある人

#### ④指揮コース

- ・ 中学、高校の合唱や吹奏楽などで指揮の経験があり、大学でもっと指揮を専門的に勉強したい人

#### ⑤理論コース

- ・ 自分で音楽の解釈ができるようになりたい人
- ・ 音楽の構成や成り立ちに関心のある人、歴史的視点から音楽を見たい人
- ・ 音楽に強い関心がある人
- ・ 自分がやっている楽器の講座はないが、音楽を総合的に勉強したい人

#### ⑥作曲コース

- ・ 独学で作曲を始めたが、さらに専門的に学びたい人

### (2) 選抜方針

実技試験と面接によって音楽科の教育目標を目指すにふさわしい人物を総合的に判断する。

- ・ 実技試験では、受験生の志望分野に対する実力を評価する。
- ・ 面接では、志望動機や学習意欲、将来展望を中心に評価する。

## 3 国際総合学科

### (1) 求める学生像

- ・ 日本や世界の文化や社会に興味・関心のある人
- ・ 国際交流や社会活動に関心があり、実際に参加したい人
- ・ 日本語や外国語によるコミュニケーション能力を高めたい人
- ・ 観光業（旅行、運輸、ホテルなど）に関心があり、将来は観光関連の仕事をしたい人
- ・ ビジネスに関する知識やスキルを身につけ、即戦力として社会で活躍したい人

### (2) 選抜方針

小論文と面接により総合的に判断する。

- ・ 小論文では、問題文の読解力、思考力、文章表現力などを評価する。
- ・ 面接では、志望動機や学習意欲、将来展望を中心に評価する。

## 4 情報コミュニケーション学科

### (1) 求める学生像

- ・ 多様なメディアを使って、自分の意見や考えを表現したい人
- ・ コンピュータや情報技術を上手に活用することに興味・関心のある人
- ・ 人間関係を大切に、他者やグループと積極的に関わりたい人
- ・ ボランティアや地域活動に関心があり、実際に参加したい人

### (2) 選抜方針

小論文と面接により総合的に判断する。

- ・ 小論文では、物事を理解・判断する力と日本語による表現能力を評価する。
- ・ 面接では、志望動機や学習意欲、将来展望を中心に評価する。

## 1 募集人員

学 科		募 集 人 員
美 術 科	美 術 専 攻	若 干 名
	デ ザ イ ン 専 攻	
音 楽 科		若 干 名
国 際 総 合 学 科		若 干 名
情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科		若 干 名

(注)① 音楽科の各コースについては、12ページの「◎音楽科における「コース」の選択について」をよく読んでください。

- ② 入学後の教育は、一般入試などにより入学した者と同様です。
- ③ 募集人員の「若干名」は入学定員に含めます。

## 2 出願資格

出願できる者は、社会人として3年以上の経験を有し、平成26年4月1日現在満21歳以上の者で、次のいずれかに該当するものとします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業認定試験に合格した者（従前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）
- (7) 本学において、個別の入学資格審査（注）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(注) 本学の個別の入学資格審査実施要項は、本学ホームページに掲載されています。

URL : <http://www.oita-pjc.ac.jp/nyushi/>

### 3 出願手続

#### (1) 出願期間

**平成 25 年 11 月 1 日 (金) から 11 月 8 日 (金) まで**

- ① 直接持参し提出する場合の窓口受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日午前 9 時から午後 4 時までとします。
- ② 郵送の場合は、**11 月 8 日 (金) までの消印のあるもの**に限り受け付けます。

#### (2) 出願方法

出願書類等の提出は持参または郵送とし、郵送の場合は、必ず「**書留速達**」としてください。

#### (3) 提出先

〒870-0833 大分市上野丘東 1 番 1 1 号

大分県立芸術文化短期大学 教務学生グループ

TEL 097-545-0542 (代表)

097-545-4225 (直通)

#### (4) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
入学願書・受験票	本学所定の用紙に必要事項を漏れなく記入し、出願前 3 か月以内に撮影した写真を所定欄に貼り付けてください。 なお、点線以外は絶対に折らないでください。
音楽科実技試験 課題曲等届出票	音楽科の出願者（作曲コースは除く）のみ記入してください。 8～9 ページの試験内容及び同届出票記載の「記入上の注意」を参照のうえ記入してください。
身上記録書	本学所定の用紙を使用してください。
志望理由書	本学所定の用紙を使用してください。
卒業（修了）証明書	最終出身学校長が作成したもの
調査書または 成績証明書	最終出身学校長が作成し、厳封したもの 高等学校卒業程度認定試験の合格者等（従前の大学入学資格検定合格者も含む）は、合格証書の写し及び成績証明書を提出してください。 （高等学校等に在学したことがある者は、在学期間中の調査書も提出してください） 出身学校の指導要録の保存期間が経過したものや、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、出身学校の卒業証明書等を調査書に代えることができます。
受験票返送用封筒	本学所定の封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し、 <b>350 円分の切手</b> を貼り付けてください。
結果通知送付用封筒	本学所定の封筒に住所、氏名、郵便番号を明記してください。 <b>(通知は、合格者のみに行います)</b>

<p>入学考査料 (振替払込 受付証明書)</p>	<p>募集要項に添付している本学所定の払込用紙に、入学考査料を添え、金融機関窓口（15 ページ「入学考査料払込金融機関」を参照してください）で払込手続きを行ってください。 手続き完了後、金融機関の領収印が押印された「振替払込受付証明書」を「入学願書」に貼り付けてください。 <b>※入学考査料は 18,000 円です。</b> <b>※既納の入学考査料は返還しません。</b></p>
<p>入学案内送付用封筒</p>	<p>本学所定の封筒に住所・氏名・郵便番号を明記したもの (入学案内は、2月下旬に合格者のみに送付します)</p>

- (注)① 外国籍を有する者は、出願書類等とともに居住する市町村長の発行した外国人登録原票記載事項証明書（在留資格、在留期間を明記したもの）を提出してください。
- ② 外国語で作成された証明書等については、必ず日本語訳を添付してください。
- ③ 改姓により調査書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を添付してください。
- ④ 身体に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前にあらかじめ教務学生グループに相談してください。
- ⑤ 12 ページ「◎ 出願上の注意事項」をよく読んで出願してください。

#### 4 受験者心得

- (1) 入学試験当日は、試験開始時刻 30 分前までに指定の場所に到着して、監督者の指示に従ってください。
- (2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 30 分以内に限り、受験を認めます。
- (3) 試験開始及び終了の時刻は、監督者の合図によります。
- (4) 受験票は、入学試験当日必ず持参してください。また、受験票は、諸手続に必要ですので、試験終了後も保管しておいてください。
- (5) 試験室では、受験票の受験番号と同じ番号の席に着き、受験票を机上の番号札の下に置いてください。
- (6) 試験中は答案作成に必要な鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、時計（時計機能だけのもの）以外の用具は、机の上に置いてはいけません。
- (7) 携帯電話等は、電源を切り、カバンにしまってください。ポケットに入れるなど、身につけることもできません。
- (8) 受験中、質問がある場合、トイレに行きたくなったり、気分が悪くなった場合などは、挙手のうえ、監督者の指示に従ってください。
- (9) 試験室において、不正行為もしくは監督者の指示に従わない行為があった者は、監督者が退室を命ずることがあります。
- (10) 連絡事項等は掲示で行います。
- (11) 入学試験当日は、本学への自家用車の乗入れはできません。
- (12) 本学の敷地内は禁煙となっています。喫煙は指定場所のみ可能です。
- (13) 本学の近隣には飲食店等がありません。また、試験当日は学食も営業していませんので、午後も試験が実施される場合、各自で昼食を持参してください。
- (14) 上記の他、監督者から特別な指示があった場合は、その指示に従ってください。



## 5 試験日程及び試験場

平成 25 年 11 月 17 日 (日) 本 学

※試験場の下見は次の日時のみ許可します。ただし、建物の中に立ち入ることはできません。

平成 25 年 11 月 16 日 (土) 13 時から 17 時 30 分まで

## 6 試験内容

### 美 術 科

受験者は午前 8 時から 8 時 30 分までに、以下の所定の場所に作品を持参の上、集合してください。

- ・美術専攻：芸術棟の受験生控室
- ・デザイン専攻：体育館

試験種別	時 間	試 験 内 容
実 技 試 験	9:00～12:00	<b>美術専攻</b> デッサン ※携行品…木炭、コンテ、鉛筆、パンまたはネリゴム等 デッサンに必要な用具（選択自由・併用可） (注)用紙(木炭紙または木炭紙大画用紙)・カルトン・クリップは本学において準備します。  <b>デザイン専攻</b> 鉛筆画 ※携行品…鉛筆、消しゴムまたはネリゴム (注)用紙(四つ切り画用紙)・カルトン・クリップは本学において準備します。
面 接	13:00～	10 分程度の個人面接
作 品 審 査	—	提出作品の審査

### ◆作品審査


提 出 作 品	美 術 専 攻	ジャンルを問わず 3 点
	デ ザ イ ン 専 攻	ジャンルを問わず 3 点 (ただし、彩色された作品を 1 点以上含んでください)


(注 1) 作品審査の提出作品は、試験当日、本人が持参可能で大きさは 3 辺の和が 200cm 以内とします。持参不能の場合はポートフォリオでも可。ただし、デジタルデータは不可。また、持参作品は自らの責任で当日搬出してください。

(注 2) 試験当日は学食の営業がありません。近隣には飲食店等もありませんので、昼食は持参してください。

# 音 楽 科

受験者は、前日までに本学の「掲示板」もしくは「ホームページ」(<http://www.oita-pjc.ac.jp/nyushi/>)で自分の実技試験の順番を確認し、当日試験の30分前までに音楽棟に来てください。当日は実技試験前に練習室の利用が可能です。詳細については本学の「掲示板」もしくは「ホームページ」でご確認ください。なお、電話等でのお問い合わせには応じられません。

試験種別	時 間	試 験 内 容
実 技 試 験	9:30～	<p><b>声乐コース</b>            自由曲2曲:任意の歌曲1曲及びアリア(オラトリオも可)            1曲すべて原語とし、アリアを除き転調可            ※暗譜のこと。            ※自由曲の伴奏譜は、必ず入学願書に添えて提出してください。</p> <p>◆声乐の伴奏譜について            提出する伴奏譜には、氏名を記入しないでください。            なお、大きさはB5判(縦25cm×横18cm)とし、各ページが表に出るように綴ってください。            (コピーしたものでも可)  <b>(例) 4ページの場合</b></p> <div style="text-align: center;">  </div> <p><b>ピアノコース</b>            W.A.Mozart または L.v.Beethoven の任意のソナタ1曲            (全楽章暗譜のこと、繰り返しなし)</p> <p><b>管弦打コース</b>            ※1、2の全てを受験してください。            1 自由曲1曲(無伴奏で演奏すること、繰り返しなし)            2 新曲視奏(12～16小節程度の新曲を受験する楽器で演奏してください)</p> <p><b>指揮コース</b>            指揮課題(11:00～)            ※1、2、3の全てを受験してください。            1 演奏課題            声乐または楽器で任意の1曲を演奏します。(無伴奏10分以内を目安とします。楽器は何でもよいが、ピアノ以外の楽器は自分で準備・運搬可能なものとします。形態(声種あるいは楽器名)、作曲者名及び曲名は「音楽科実技試験課題曲等届出票」に記入してください。)            2 聴音(「1 演奏課題」終了後)            8小節程度の単旋律及び和音聴音            3 口頭試問            音楽一般に関する質疑</p>

実技試験	9:30～	<p><b>理論コース</b> 理論課題 ※1、2、3の課題のうち、いずれか1つを選択してください。</p> <p>1 和声 (9:30～10:30) (与えられたバス課題により、4声体を実施します。) (属九まで)</p> <p>2 小論文 (9:30～10:30) (理論分野での学習の抱負を800字程度の小論文にまとめます。)</p> <p>3 演奏課題 (11:00～) 声楽または楽器で任意の1曲を演奏します。(無伴奏10分以内を目安とします。楽器は何でもよいが、ピアノ以外の楽器は自分で準備・運搬可能なものとします。形態(声種あるいは楽器名)、作曲者名及び曲名は「音楽科実技試験課題曲等届出票」に記入してください。) *「演奏課題」は音楽の適性及び理解度を審査するものです。</p> <p><b>作曲コース</b> 作曲課題 ※1、2の全てを受験してください。</p> <p>1 作曲 (9:30～10:30) 2～3小節の与えられた単旋律を主題として12～24小節程度の単旋律による曲を作曲します。</p> <p>問題例</p>  <p>2 口頭試問 「1 作曲」について試問を行います。</p>
面接 口頭試問	14:00～	<p><b>声楽コース</b> <b>ピアノコース</b> <b>管弦打コース</b> <b>理論コース</b> 10分程度の個人面接</p> <p><b>指揮コース</b> 「3 口頭試問」と同時に、20分程度の個人面接</p> <p><b>作曲コース</b> 「2 口頭試問」と同時に、20分程度の個人面接</p>

(注1) 任意の演奏は試験時間を変更することがあります。

(注2) 試験当日は学食の営業がありません。近隣には飲食店等もありませんので、昼食は持参してください。

## 国際総合学科・情報コミュニケーション学科

受験者は、午前 9 時 30 分までに人文棟に集合してください。

試験種別	時間	試験内容
小論文	10:00~11:30	1,000 字程度の課題文を読んで、自分の考えを 800 字以内の小論文にまとめるもの
面接	12:30~	20 分程度の個人面接

(注 1) 試験当日は学食の営業がありません。近隣には飲食店等也没有ないので、昼食は持参してください。

(注 2) 面接開始後は、各自の試験が終わるまで退出できません。

## 7 合格者発表

平成 25 年 11 月 25 日 (月) 午後 2 時 (予定) に本学内掲示板 (事務棟前) に合格者受験番号を掲示するとともに、本学ホームページにも掲載します。また、合格者には合格通知書及び入学手続書類を郵送します。なお、電話等による問い合わせには一切応じられません。

URL : <http://www.oita-pjc.ac.jp/nyushi/goukaku/>

URL (携帯電話用) : <http://www.oita-pjc.ac.jp/keitai/>

※携帯電話の場合、アクセス制限設定により、つながらない場合があります。



## 8 入学手続

### (1) 手続期間

平成 25 年 11 月 26 日 (火) から 12 月 4 日 (水) まで

- ① 直接持参し提出する場合の窓口受付時間は、土曜日及び日曜日を除く毎日午前 9 時から午後 4 時までとします。
- ② 郵送の場合は、必ず「書留速達」とし、12 月 4 日 (水) までの消印のあるものだけに限り受け付けます。

### (2) 手続場所

〒870-0833 大分市上野丘東 1 番 1 1 号

大分県立芸術文化短期大学 教務学生グループ

TEL 097-545-0542 (代表)

097-545-4225 (直通)

### (3) 提出書類及び入学金

ア 平成 25 年 11 月 26 日 (火) から 12 月 4 日 (水) までに提出するもの

- ① 誓約書 (本学所定の用紙に必要事項を記入したもの)
- ② 入学金 (14 ページ「学費その他の納付金」を参照してください)
- ③ その他、合格通知の際に送付する「入学手続について」に記載する必要な書類

イ 平成 26 年 2 月 21 日 (金) から 3 月 4 日 (火) までに追加提出するもの

- ① 学生証用写真 (縦 3cm×横 2.5cm) 1 枚、学籍簿・学生票用写真 (縦 4 cm×横 3 cm) 2 枚の計 3 枚  
写真は、上半身、正面向き、無帽、無背景、3 か月以内に撮影したもの。写真の裏には、氏名を黒ボールペンで記入してください。
- ② その他、平成 26 年 2 月 20 日 (木) 以降に送付する「入学案内」に記載する必要な書類

### (4) 入学手続上の注意事項

- ① 所定の期間内に必ず入学手続 (入学手続書類の提出及び入学金の納付) を行ってください。手続期間内に入学手続を完了しなかった場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 入学手続後は、理由の如何を問わず入学金及び提出書類は返還しません。

## 9 個人成績の開示

入学試験の成績を本人から請求があった場合に開示します。

- (1) 請求できる者 受験者本人 (本学の受験票を持参のうえ、本学事務棟の教務学生グループへ来学してください)
- (2) 開示の内容 試験の科目別得点、合格者の平均点・最高点・最低点を開示します。なお、音楽科の合格者については、合格者の平均点・最高点・最低点、不合格者については、前記項目に加え、科目別得点の開示をします。
- (3) 開示期間 平成 25 年 11 月 26 日 (火) から 12 月 20 日 (金) まで  
(土曜日、日曜日を除く午前 9 時から午後 4 時まで)
- (4) 開示方法 直接、本人に口頭で行います。電話、郵便、メール等による開示はできません。

## その他受験に必要な留意事項

### ◎ 音楽科における「コース」の選択について

#### 音 楽 科

音楽科は、以下のコースに分かれています。出願の際に入学願書に希望コースを明記してください。

学 科	コ ー ス
音 楽 科	声 楽
	ピ ア ノ
	管 弦 打 ※注
	指 揮
	理 論
	作 曲

※注) 管弦打コースにおいて履修可能な楽器は次のとおりです。  
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、  
クラリネット、ファゴット、サキソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、  
ユーフォニアム、チューバ、打楽器 (マリンバ、小太鼓)

### ◎ 出願上の注意事項

#### 1 入学願書の記入のしかた

以下の注意事項に従い記入してください。

- (1) 記入にあたっては、黒インクまたは黒ボールペンを使用し、文字は楷書で、数字は算用数字で記入し、該当語句は○で囲んでください。
- (2) ※印の欄には記入しないでください。

(入学願書) 各学科共通用

「出願区分」欄	該当する出願区分を○で囲んでください。
「志望学科」欄	①出願する学科名(美術・音楽・国際総合・情報コミュニケーション)及び美術科については専攻名(美術・デザイン)、音楽科についてはコース名を記入してください。 また、受験票の該当欄にも同様に記入してください。 ②音楽科における希望コースについては、12ページの「◎音楽科における「コース」の選択について」をよく読んで記入してください。 ■管弦打コース希望者は、希望コース欄下の( )に楽器名を記入してください。
「氏名」欄	氏名を記入してください。性別は、該当する語句を○で囲んでください。
「現住所」欄	郵便番号、丁目、番地まで正確に記入してください。マンション等の居住者は、マンション名・アパート名や部屋番号まで詳しく記入してください。下宿、間借り等をしている者は、「○○方」と記入してください。 自宅電話番号は、市外局番から記入し、呼び出しの場合は「○○方」まで記入してください。携帯電話番号は、本人が所有し、確実に連絡の取れるものであれば、その電話番号を記入してください。
「出願資格」欄	卒業等年月を記入し、該当する語句を○で囲んでください。

## 2 その他

- (1) 各学科及び各専攻・コースの併願はできません。
- (2) 出願書類等を受け付けた後、折返し受験票を送付します。出願後1週間たっても受験票が届かない場合は、教務学生グループ(TEL 097-545-4225)まで連絡してください。受験票は試験当日必ず持参してください。  
当日、受験票を忘れた者は速やかに入試本部で仮受験票の交付を受けてください。  
受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- (3) 出願書類等の不備なものは受け付けません。また、受付後は、理由の如何を問わず入学料及び提出書類は返還しません。
- (4) 出願後は、書類の記載内容を変更することは認めませんので、誤りのないよう記入してください。
- (5) 出願書類等で虚偽の申告をした場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

## ◎ 学費その他の納付金

(平成 26 年度見込) (単位：円)

内訳	学科	美術科		音楽科	国際総合 学 科	情報コミュニケ ーション学科	備 考
		美術専攻	デザイン専攻				
入 学 金	県内生	169,200	169,200	169,200	169,200	169,200	
	県外生	282,000	282,000	282,000	282,000	282,000	
授 業 料		390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	年額(195,000× 前・後期)
後援会費・その他		70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	後援会費(55,000) 同窓会費( 5,000) 学友会費(10,000)
実習教材費等		20,000	50,000	30,000		30,000	
研 修 旅 費					20,000	20,000	
合 計	県内生	649,200	679,200	659,200	649,200	679,200	
	県外生	762,000	792,000	772,000	762,000	792,000	
入 学 時 納 付 金	県内生	259,200	289,200	269,200	259,200	289,200	合計から授業料 を差し引いた額 です。
	県外生	372,000	402,000	382,000	372,000	402,000	

(注)①平成 26 年度所要見込額は、上記のとおりですが、若干変更になることがあります。

なお、授業料は入学後の納付となります。

・前期納入期日 平成 26 年 5 月 27 日 (火) (予定)

・後期納入期日 平成 26 年 10 月 27 日 (月) (予定)

②入学手続完了者が、**平成 26 年 3 月 27 日 (木) までに入学を辞退**した場合には、納付した者の申し出により**入学金を除く納付金相当額は返還**します。

③「県内生」とは、以下のいずれかに該当する者で、これ以外の者はすべて「県外生」扱いとなります。

・合格者の本籍・現住所（住民票のある住所）とも大分県の場合

・合格者の本籍が大分県で、現住所（住民票のある住所）が県外の場合（入学と同時に住民票を大分県内に移すことが前提）

・合格者の本籍が大分県外で、現住所（住民票のある住所）が平成 23 年 4 月 1 日以前から連続して 3 年以上大分県の場合

④後援会費については、2 年次に別途 20,000 円の納付となります。



## ◎ 長期履修制度について

長期履修制度とは、個人の事情に応じて柔軟に修業年限を超えて履修を行い、短期大学士の学位を取得するものです。

職業を有していたり、家事、育児、家族の介護を行っているなどの事情により、本来の修業年限である2年では卒業できない者に対し、3年あるいは4年の修業年限を定め、計画的に履修を行うことを認めます。

長期履修が認められると、授業料は、通常の学生（修業年限2年の学生）が卒業までに納入する額を、認められた修業年限で分割して支払うことができます。

詳しくは教務学生グループにお問い合わせください。

### 制度の概要

- (1) 履修期間 4年以内（短縮はできますが、延長はできません）
- (2) 対象者 職業を有する者または家事、育児、介護その他の相当の理由があると認められる者
- (3) 手続き 「長期履修願」を入学手続期間内に学長に提出する。
- (4) 授業料 通常の修業年限（2年間）に支払うべき授業料総額を、あらかじめ認められた修業年限で除した額をそれぞれの年に支払う。

### ○ 入学考査料払込金融機関

入学考査料の払込手続は、次の金融機関で行えます。

- ・ゆうちょ銀行
- ・都市銀行
- ・信託銀行
- ・地方銀行
- ・第二地方銀行
- ・信用金庫
- ・信用協同組合
- ・労働金庫
- ・農業協同組合
- ・漁業協同組合

なお、募集要項に添付している本学所定の払込用紙は、どの金融機関でも使用できます。

# 大分県立芸術文化短期大学 平成26年度社会人入学願書

各学科共通用

		※受験番号	
志望学科	(学)科 専攻 希望コース [ ] 楽名 ( )		
ふりがな			性別 男・女
氏名			
生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (才)		写 真 (4cm×3cm) 上半身正面向き で3か月以内に 撮影したものを 貼り付けてくだ さい。
現住所	〒 - 自宅電話( )-( )-( )		
	携帯電話( )-( )-( )		
出願資格	昭和 年 月 平成		卒業 修了 検定等
出身高等 学校等	都道 府県	国立 私立 公立 その他	学校

切り離さないでください

切り離して提出してください

平成26年度 社会人入学試験受験票

大分県立芸術文化短期大学

※受験番号	
(学)科	専攻・ コース
氏名	
昭和・平成	年 月 日生

切り離さないでください

写 真  
(4cm×3cm)

入学願書と同じ  
写真を貼り付け  
てください。

(裏面をよく読んでください)

切り離さないでください

※受験番号

振替払込受付証明書  
貼付け欄

切り離さないでください

試験日時 平成25年11月17日(日)

美術科 実技試験 9:00～12:00  
面接 13:00～  
音楽科 実技試験 9:30～  
面接 14:00～  
国際総合学科・情報コミュニケーション学科  
小論文 10:00～11:30  
面接 12:30～

### 受験者心得

- 1 試験開始30分前までに所定の場所に集合し、監督者の指示を受けてください。
- 2 受験票は必ず机上の受験番号カードの下に置いてください。
- 3 小論文では、筆記用具以外の使用を許可しません。
- 4 試験会場等の伝達事項については、入試用掲示板を見て確認してください。
- 5 病人は届け出て、保健室で受験できます。

(音楽科実技試験課題曲等届出票)

音楽科出願者のみ記入してください。

なお、8～9ページの試験内容を参照のうえ記入してください。

「希望コース」欄	希望するコース名（声楽・ピアノ・管弦打・指揮・理論）を記入してください。
「声楽自由曲」欄	任意選択した2曲の作曲者名、曲名、調名を記入し、必ず伴奏譜を入学願書に添えて提出してください。
「ピアノ課題曲」欄	Mozart、Beethovenのいずれかを○で囲み、( )の中に作品番号を記入してください。 [記入例] Mozart KV ( 311 ) または Mozart KV ( ) Beethoven Op. ( ) または Beethoven Op. ( 2 No.3 )
「管弦打自由曲」欄	受験する楽器名を記入してください。 任意選択した1曲の作曲者名、曲名を記入してください。
「指揮課題」欄	「演奏課題」の作曲者、曲名、演奏形態（声種または楽器名）を記入してください。調性、作品番号は曲名に含めること。
「理論課題」欄	希望する理論課題について「1.和声」、「2.小論文」、「3.演奏課題」のいずれか1つを○で囲んでください。 なお、3を選択する者は、演奏課題について曲名等を記入してください。

切り離して提出してください

音楽科実技試験課題曲等届出票(音楽科出願者のみ記入すること) 氏名 \_\_\_\_\_

希望コース	※受験番号		
声楽自由曲	作曲者名	曲名	調名
ピアノ課題曲	Mozart KV ( ) Beethoven Op. ( )		
管弦打自由曲	楽器名	作曲者名	曲名
指揮課題	作曲者名 形態	曲名	
理論課題	1 和声 2 小論文 3 演奏課題 作曲者名 形態		
		曲名	

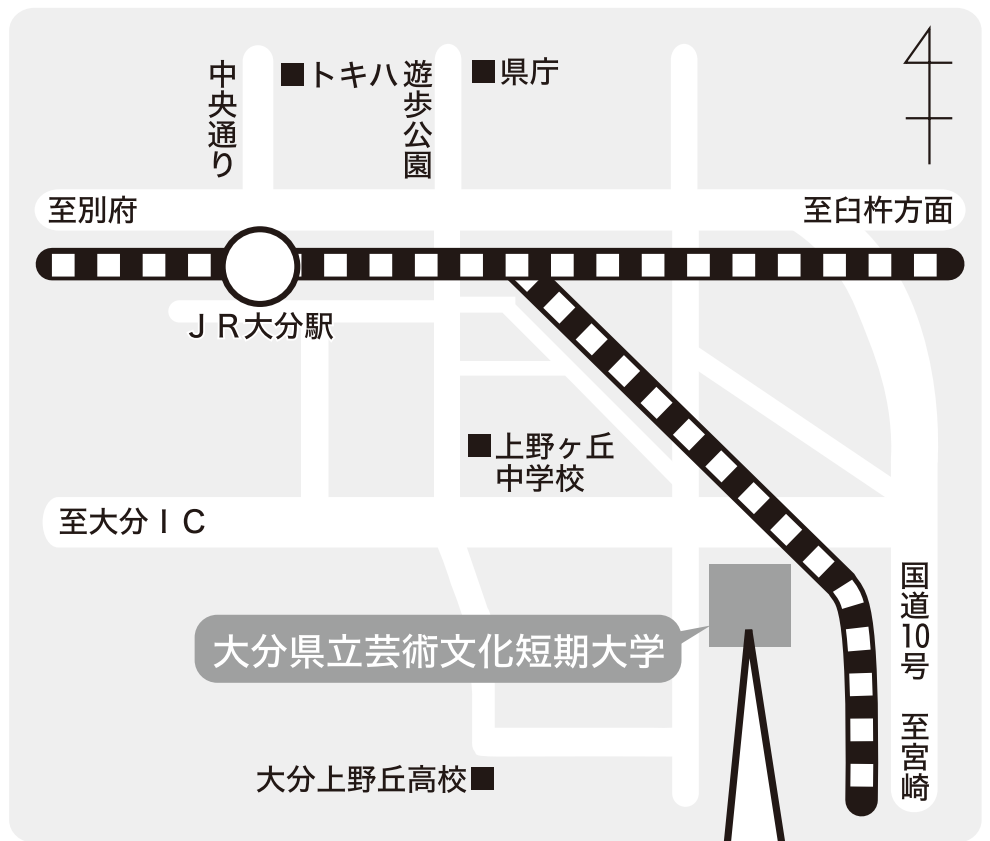
切り離して提出してください



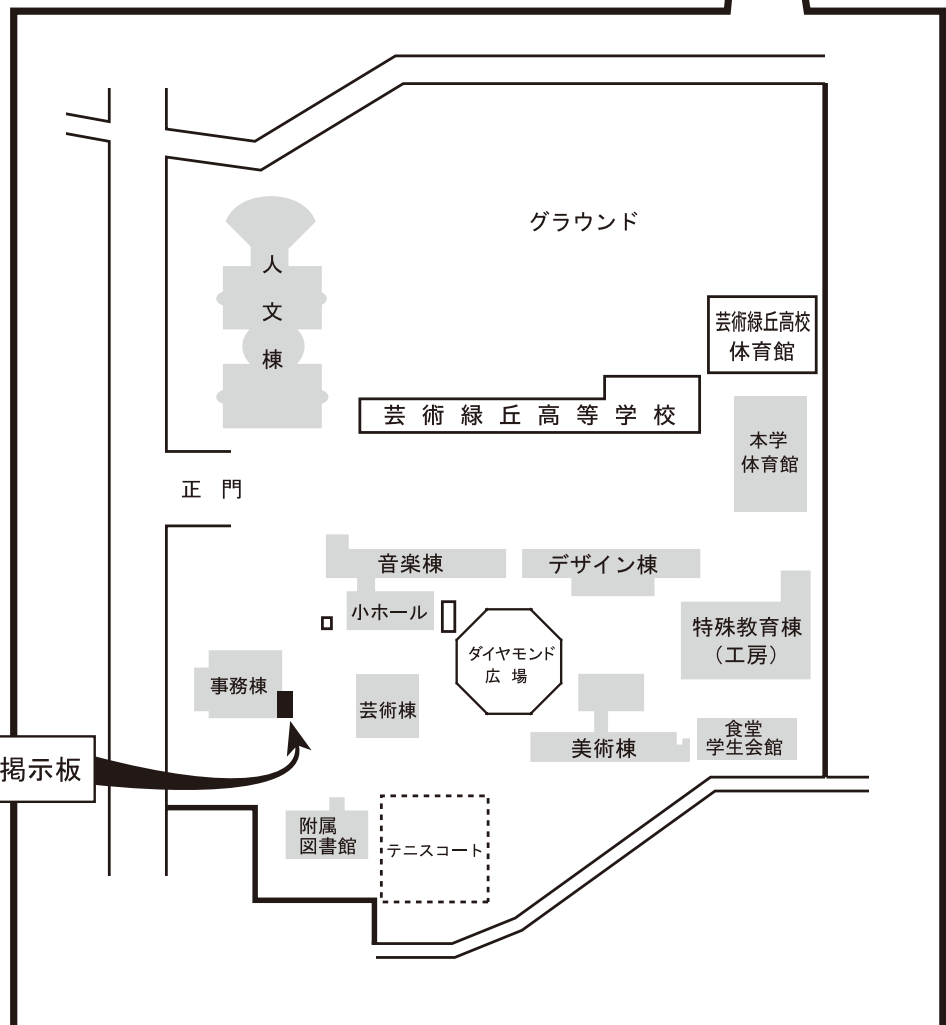


# 大分県立 芸術文化短期大学 案内図

- (アクセス)  
 ■ 徒歩  
 ■ 大分県上野の森口(南口) から約20分  
 ■ 大分バス  
 ■ 大分駅前中央口(北口) 「大分駅前」7番のりば  
 ■ または「大分バス本社前」3番のりばから「上野」行きに  
 ■ 乗車(約10分) 終点「上野」下車(徒歩約4分)



学内配置図





大分県立芸術文化短期大学

■入試に関する問い合わせ先

〒870-0833 大分市上野丘東1番11号  
大分県立芸術文化短期大学 教務学生グループ

TEL 097-545-0542 (代表)  
097-545-4225 (直通)  
URL <http://www.oita-pjc.ac.jp/nyushi/>